

青森県では実働数が未だ0頭！

介助犬について知ってほしい～東北キャラバン初開催～

(社福)日本介助犬協会では、6月20日～7月1日の約2週間をかけて介助犬のペア数が少ない地方であり、介助犬の認知度が低いであろう東北地域での啓発活動「東北キャラバン」を実施いたします。青森県には6月24日(金)に滞在し介助犬の啓発活動を行います。

介助犬とは手足に障がいのある方の日常生活動作を手助けする犬のことです。2021年10月時点では、全国の実働ペア数は57ペア。介助犬と生活することでより良い生活を送れるだろうといわれている手足に障がいのある方はおよそ15,000人いるといわれています。数が足りないことが課題となっており、その要因の一つとして認知度の低さが挙げられています。青森県の介助犬のペア数は0。見る機会がなければ知るきっかけもないので、この機会に一人でも多くの方に介助犬について知っていただきたく、「東北キャラバン」を実施することといたしました！

介助犬啓発としても各種メディアにもご取材としてご協力いただけますと幸いです。



○青森県での啓発

青森県庁訪問

青森市役所訪問

一般の方への介助犬啓発活動

※時間等詳細はお問い合わせください

今回東北キャラバンを実施するにあたり、宮城県出身のイラストレーターに依頼しオリジナルデザインを作成しました。東北のゆかりのあるものが盛り込まれ、犬が東北かけまわっているデザインです。

<取材申込み・問合せ先>

社会福祉法人 日本介助犬協会 管理部広報 G

連絡先：0561-64-1277・080-4177-6200

Mail：info@s-dog.jp

